



# サウンド<sup>オブ</sup>ミュージック

## 上演迫る！ 11月24日にはホールで本番さながらに練習

本誌 9 月号「WHO'S WHO」で紹介したベイタウン版「サウンド・オブ・ミュージック」の上演がいよいよ迫ってきた。9 月に入ってからずっと、土曜の午前中を中心に練習を重ね、11 月 24 日には幕張ベイタウン・コアのホールを午後借り切って通し稽古（けいこ）も実施した。“幕張文化”を生み出す拠点に！との思いを込めて計画したベイタウン・コア。そのホールで 12 月 15 日の午後 3 時 30 分、新しい文化がいよいよ花開く。【茂木】



(写真上左) 歌「さようなら、ごきげんよう」を歌う「フェアリーズ」(妖精)の女の子。衣装は子どもたちのお母さんたちの手作りだ。(写真上中) リコーダの舞台練習。リコーダは特訓の甲斐あって、この日も息はぴったり。(写真上右)「すべての山に登れ」を歌うプロ歌手の浪岡さん。この歌唱力には子どもたちも驚いていた。(写真左)「ベイタウンベルリンガーズ」の子どもたち。表情は真剣そのもの。

午前中で終わるはずの打ち合わせが長引いている。コアの工芸室では、午後の 1 時近いというのにまだ、裏方を支えるスタッフ 8 人が進め方を確認している。事務局長の佐藤総一が仕切り、舞台監督を務める隅山雄介と浪岡尊志のふたりが細かな点をチェックする。

1 時を回る。時間切れ。きょう 11 月 24 日は 1 時 30 分からホールで通し稽古をやる。出演者が来るまで、もう 30 分とない。仕方ない。スタッフはなかば開き直ってホールに。

ホールではすでに、「サウンド・オブ・ミュージック」の歌をバックに新体操でリボンを演じる小学生 5 年の女の子が練習している。照明の下がるバーを下ろす、背景画をスクリーンに映し出すパソコンをセットする、最初の演目を使うミュージックベルを取り出す……。スタッフはめいめい準備にかかる。

あと 5 分。出演者がやって来た。まずは女の子 3 人。企画者のひとり、森本真由美がホールに招き入れる。「ちょっとすわって待ってて」。律儀にも、ホールの床にしっかり正座する 3 人。リボンを手に舞う新体操の小学生に目を向ける。通し稽古とはいえ、それなりの緊張感をもって来たのか。きょうの稽古への思いが“正座”に込められているかのようだ。

ホールの外がだんだんざわついてくる。出演する子どもたちが集まり始めた――。

\* \* \*

「サウンド・オブ・ミュージック」に出るのは、幼稚園から小学生までを中心とする子ども約 130 人。ベイタウンでピアノを教える企画者たちの教え子や、その友だち、公募に応じて集まった子どもといった構成だ。物語をナレーションでなぞりつつ、ところどころで、ミュージックベルやリコーダを奏でたり、軽やかに、そしてしなやかに踊ったり、声を合わせて元気に歌ったりする。

語りや演奏や合唱など表舞台の一部と、音響や照明や舞台美術など裏方のいっさいは、数十人ものおとなが支える。

ミュージックベルやリコーダや歌の指導にあたるのは、ベイタウンでピアノを教える 5 人の女性たちだ。子どもに物語を聞かせる活動を 20 年近く続けてきた岩崎喜久子はナレーションを引き受けた。デザイナーとして広告界で活躍する下田路晴はポスターやプログラムの制作を手がけた。……そんなふうには、それぞれが好きなこと・得意な分野で腕をふるう。

通し稽古が終わったのは、5 時 40 分。休憩をはさみながらとはいえ、始めてからかれこれ 4 時間が経つ。

スタッフのうち 5 人はコアの講習室で引き続き、きょうの総括をしながら、本番前日の 12 月 14 日に実施する保護者向けプレビューの段取り確認に入る。目の前、会議机の上には、ペットボトルのお茶と、ちょっとしたお菓子。そう言えば、この人たち、昼飯食べてないじゃない？

すべてを終えてコアを後にしたときにはもう午後 9 時を回っていた。(敬称略。裏面に続く)

# 練習開始からの3カ月間を追う

出演する子どもたちがそろって練習を始めたのは9月。それから毎週土曜、コアのホールや工芸室で演目ごとに練習を重ねてきた。最初のうちは譜面とにらめっこだったものの、手や指や口やそして耳が、音階と旋律と歌詞を覚えたのか、通し稽古のときは、みんなしっかり前を向いて演奏していた。取材に立ち会えた練習の様子を日記風につづってみた。

## 9月14日 13:00～15:00 コア工芸室

リコーダーのはじめての練習。先生は安永珠弓さん。出演するメンバーの保護者でもある杉谷直子さんが手助けをする。登録メンバーは24人。うち男子6人と女子8人の計14人がこの日は参加する。練習するのは、「ラ・ラ・ルー」とクリスマスメドレーの2曲。低音部と高音部と二つのパートに分かれて、みっちり2時間。終わると同時に、男子はあいさつもそこそこにドアに向かう。引き止める先生。「さようなら」と、しぶしぶお辞儀を交わす。



## 9月14日 15:30～16:20 コア工芸室

歌「さよなら ごきげんよう」の練習。この日参加したのは、幼稚園児9人と小学生10人。みんな女の子。先生は森本真由美さん、伴奏は永木真紀さんが担当する。先生から「パーティーでまだいたいんだけど先に寝るね」という歌と説明も。「楽しそうに歌おう」「とっても上手」としきりに場を盛り上げる。4年生のメンバー

は「最初はむずかしいと思った。歌ってみたら、かんたん」と、みんなの前で感想を。

## 10月5日 9:00～10:00 コアホール

ミュージックベルの練習。先生は福田薫さん。企画者でもある小野寺亮子さんも。この日は、女の子7人のチーム。音階を口ずさみリズムを手でとる先生。演奏の区切りでは子どもたちに、「楽譜を見ないで耳で覚えて」「自分のまわりの音も聞けた？」とやさしく静かに。

## 10月5日 17:30～19:00 コアホール

歌「エーデルワイス」の練習。先生は森本真由美さん。ピアノもこなす。参加したのは、小学生の女子5人。先生から「楽譜ばかり見ないで。下を見ないように」「言葉が聞こえてこない」と厳しい言葉も。ピアノを弾きつつ、「わたしに向かって歌ってきて」。通して歌う。「さっきよりいいぞ」「さっきよりいいじゃん」「さっきより1.5倍いい」とホメ言葉も。この日は6時から、一緒に歌うおとなとの合同練習を控えているので、「それまでになんとか形にしたい」との思いがある様子。「エーデルワイスはオーストリアの花。千葉の花はなに？」と先生。「菜の花」と子どもが返す。「好きな花を思って歌ってくれる」と先生。6時近くなると、ギターで弾き語りをする佐藤徹太郎さんと、ピアノで伴奏する水谷圭子さんの姿も。コアで活動する混声合唱団「コアチェンバーシンガーズ」のメンバーも集まってくる。6時過ぎ。森本さんが子どもとおとなを互いに紹介する。山場となる歌「すべての山に登れ」を独唱するプロの歌い手でもある浪岡浩子さんの指導のもとで、発声練習から始める。

## 10月19日 13:00～15:00 コア工芸室

リコーダーの練習。一緒に演奏するリコーダーサークル「R&Wリコーダーアンサンブル」のメンバーもふたり。「指使いよくなってきた」「はじめて聞いてびっくり」と感想を。「最初に会ってから何回目だっけ？ 4回目かあ」と先生役の安永さん。家で練習している人に手をあげて

もらう。「ひとり一人が練習すれば、もっとよくなる」とみんなを励ます。

## 10月19日 15:10～16:05 コア工芸室

歌「エーデルワイス」の練習。歌詞をみんな読んで読むところから始める。先生を務める森本さんは「パソコンで調べた」と、エーデルワイスの花の写真をプリントアウトしたものを見せる。「花言葉は大切な思い出」との説明も。「希望の歌と思う」「前向きに歌って」と。途中5分ほど休憩。雑談。「楽しい？ 歌好き？」「衣装はどうしようかあ」と先生。「じょおねつのあっかいばらあ〜」と、TVで放映中の漫画「あたしんち」で登場人物が鼻歌まじりに歌う歌を口ずさむメンバー。「モー娘。はもう流行ってない」「平井堅もいい」とも。



## 11月16日 11:05～11:55 コアホール

リコーダーの練習。24日の通し稽古を1週間後に控える。低音部と高音部に分かれて、スズやトランペットなどほかの楽器の担当者は舞台向かって右手に、R&Wリコーダーアンサンブルのメンバー6人は背後に、と本番同様の並びで。練習が始まるのを待つ間、「翼をください」を吹く男の子も。まず「ラ・ラ・ルー」から。だれも譜面を見ない。立って演奏。「マイク見て。姿勢正して」。舞台の向かい、出入り口の上にあるマイクを、「あそこ、あそこ」と先生が指差す。続いてクリスマスメドレーへ。男の子から「なんで『聖者の行進』急ぐの？」との指摘も。「早いと思う人」と問う先生。4人が手をあげる。終わりに差し掛かると、先生から「この次は通し稽古」との言葉が何度も。

## 企業庁・連合会定例会議傍聴記 その4

毎月定期的にかかれていた企業庁と連合会との11月11日付会合を取材した。

今回は子どもルームへの対応・交通問題・スーパー防犯灯・街区整備予算・ベイタウン内での撮影許可について話し合われた。

毎月話し合われている問題で、本誌11月号の報告からそれほど進展がなかった内容もあったので、今回はふたつの項目に絞った報告とした。

### ●交通問題

連合会は最近街の中で頻発している交通事故との関連で、現在建設中のマリノフォート入居後に予定されているベイタウンから海岸道路へ抜ける道路（富士見通り）の開通をにらみ、事故多発十字路への物理的な対策なく

しての開通には慎重な対応を求めた。

この問題は、飛躍的に増えることが予想される交通量を見込んだ要望だが、住民側から見れば、現在でも頻発する事故、慢性的な青空駐車車両の増加など、安易に開通されては困ることは目に見えている大きな問題だ。

過去にも打瀬中学校まわりの交通問題で一旦開通した道路を1年がかりで夜間通行止めにこぎつけた経験があり、開通してしまった道路を閉じることは非常に難しい問題である。富士見通りの開通は慎重に検討しなければいけない難しい課題である。

### ●街区内整備予算

連合会側から多数の切れている街灯と枯れたり支柱が倒れてしまっている街路樹の管理

予算についての説明を求めた。こちらは建設事務所が予算管理をしているとのことで明確な回答は得られなかった。街灯の電球は切れたところに対する随時交換ではなく、予算の都合で年に2回の点検で見つかったところを交換しているとの説明があった。

現在ベイタウン内に設置されている街灯の電球は大変高価なもので、将来ベイタウン内の道路がすべて千葉市に移管された場合には、千葉市の規格外の街灯がついていることを理由に電球交換を拒否されてしまう恐れがある。

この件は街開き後間もない頃から住民側が指摘していた問題点であるが、次々に建設されている新しい番街の周りには洒落た街灯が設置され、既存番街の周りは薄暗いままという皮肉な状況が発生している。

連合会側は、今回の会合結果を踏まえ交通問題の進展と街区整備の方向性をまとめて欲しいと要望した。 【金】

# スーパー防犯灯の設置要望場所 5カ所が決定

自治会連合会は11/30の定例会で、スーパー防犯灯を幕張海浜公園内に2カ所、マリンデッキ、打瀬2丁目公園、打瀬第一公園にそれぞれ1カ所の合計5カ所に設置するよう千葉県警に要望することに決定した。スーパー防犯灯とは監視カメラ付きの防犯灯のようなもので、ISDNで警察と結ばれた防犯のための新兵器。スーパー防犯灯は、警察庁が全国10カ所のモデル地域を指定し、実験的に設置するもので、千葉県では幕張ベイタウン（住宅地域）内5カ所に設置することを警察庁が決定していた。しかし、自治会連合会ではベイタウン周辺での防犯上の緊急性から、通勤道路としての幕張海浜公園内への設置を要望し、千葉県警に対して設置場所の変更を求めている。この問題についてはベイタウンネット（<http://www.baytown-net.com/>）や街作りフォーラムのメーリングリスト（Eメールによる会議）を通じて大きく論議されていたので、ご存じの方も多いただろう。

自治会連合会では10/10に千葉県警から担当者を招き、住民公開で説明会を開催していた。会議では場所の選定を住民4名によるワー



自治会連合会が千葉県警に要望した、5カ所のスーパー防犯灯設置場所（●で示された場所。位置表示は多少の誤差を含みます）と暫定の第2子どもルーム建設予定地。

キンググループ（WG）が中心に行くことを決定し、千葉県警も住民側の要望を十分考慮して場所の決定を行うことを約束していた。今回の連合会による設置希望場所の決定は、このWGの場所の選定を受けて決定されたもの。

スーパー防犯灯問題では、連合会は場所の選定理由や交渉の経緯などの情報を従来にも増して積極的に開示してきた。従来行ってきた各番街への掲示板を通じた広報の他、先に紹介したベイタウンネットをはじめとするITを通じた情報提供がその中心であったが、この方法にはパソコンを持たない住民に伝達できないなどの問題も残している。連合会ではこのスーパー防犯灯問題を契機に、さらに積極的な情報公開をしたいとしている。

注：自治会連合会のHPは、<http://baytown.ne.jp/>へ。

## 第2子どもルーム 場所はベイタウン・コア横に

千葉市は、打瀬第三小学校（仮称）が完成する平成18年までの3年間、暫定処置として第2子どもルーム（プレハブ）を建設することとし、その建設予定地を幕張ベイタウン・コア横の緑地部分（駐車場との間の部分）と決定した。これはベイタウンの児童数の増加に伴い、来年度には打瀬子どもルームが定員超過となるための措置。当初千葉市は建設予定地について、打瀬消防署横にするとしていたが、子どもたちの防犯上の安全について問題があるなどの理由で場所を今回のコア横に変更した。場所の問題については子どもルーム父母会をはじめ、住民からも消防署横では不安との声が出ていた。

第2子どもルームの予定定員について千葉市は64名としているが、子どもルーム父母会では平成18年度までの児童数の増加予想から考えて64名定員では少ないとし、定員を80名とするように要望している。また二つの子どもルーム児童をどのように分割するかについて、父母会では小学校区ごとの分割を希望しており、定員問題と併せて現在父母会と千葉市との間で話し合いが続けられている。

子どもルーム父母会と千葉市との話し合いの詳細は、父母会が本紙にビラを挟み込み経過を説明している。

【松村】

**MAKUHARI**  
**Bay Town CORE**

**公民館から TEL.296-5100**

★申し込み：1/5（日）から電話または直接、公民館にお申込みください。

**時には着物を着てみましょう～着付け入門**  
1/22～3/12(2/19を除く毎週水曜日)  
■ 9:30～11:30 (全7回)  
定員：16人 (抽選)  
用意するもの：裁縫道具一式、着物、帯、小物一式  
受付締切：1/16

**絵手紙は自然がお手本～楽しい絵手紙**  
1/28～3/25 (2/4・11日、3/4を除く毎週火曜日)  
■ 13:30～15:30 (全6回)  
定員：20人 (抽選)  
用意するもの：習字用小筆2本、下敷、小皿等  
受付締切：1/16

**知って安心、健康講座「花粉症から見たアレルギー」**  
1/18 (土) 14:30～16:30  
講師：うたせ耳鼻咽喉科アレルギー科院長・医学博士 山越隆行氏  
定員：50人 (先着)  
※今後、2/8 (土)「心臓、脳、腹部に関連した救急医療について」、3/15 (土)「生活習慣病予防の食事」を予定しています。

**中高生のための楽しい料理講座**  
～「バレンタインチョコプレートケーキ」をつくろう！  
1/25 (土) 10:00～12:00  
定員：16人 (先着)

**美浜区女性講座「しなやかに生きる女性たち」**  
1/30～3/6 (毎週木曜日)  
■ 13:30～15:30  
1/30「自分のからだど向き合うこと」  
2/6「人形劇を通して表現すること」  
2/13「住みやすさとは」  
2/20「母、式田和子の生き方」  
2/27「自分色は自分を表現する色」  
3/6「楽に生きてみませんか」  
定員：30人 (抽選)  
受付締切：1/23

皆さまから「かな書道」のお申込みをたくさんいただきました。ありがとうございました。定員20人をはるかに上回るご応募がありましたので、16日の公民館運営懇談会において厳正なる抽選を行いました。選外に選ばれました皆さまには深くお詫び申し上げます。

**☆わくわくクリスマスおはなしパーティー☆**  
日時：12月21日 10:00開場 (10:30開演)  
場所：コア・ホール 参加無料、年齢制限無し  
◆あのねサンタのくにはね  
◆3匹のこぶた  
◆みんなでぬくぬく  
◆おならサンタ  
名作から、わくわくおはなし会のオリジナルストーリーまで、バラエティーにとんだ内容でお待ちしております。  
■お問合せ：井上 (211-0188)  
■わくわくおはなし会HP <http://www9.ocn.ne.jp/~wak2/>

## ベイトウンニュース新年号に出よう

毎年恒例の「年男・年女 新春撮影会」

来年の干支は「未」（ひつじ）です。ひつじ年の方は全員集合！ベイトウンニュース新年号に写真入りで載るチャンスです。昨年までは工事中のベイトウン・コアをバックに定点撮影を行ってききましたが、今年はコアが完成。でき上がったコアをバックに撮影します。来年からは撮影場所を変える予定なので、完成したコアをバックに撮影するのは今年が最初で最後。ベイトウンの歴史に残る1枚になります。

日時： 12月21日（土）10:00～10:30

集合： 幕張ベイトウン・コア アトリウム

雨天の場合は翌日に順延します。

連絡先：ベイトウンニュース編集部 松村（Tel 211-6853）

## 私たちと一緒に楽しいゴムバレーをしませんか？

男性3人、女性6人の9人制です。ご興味のある方は、いつでも見学においでください。

練習日： 水曜日 19:00～21:00

日曜・祝祭日 13:00～16:30

場 所： 打瀬小学校 体育館（アリーナ）

連絡先： 御木（Tel 211-0510）、浦住（Tel 213-1848）

## ミラマール第1次募集

公団の賃貸住宅「ミラマール」は、来年1月に第1次（113戸）の募集を行います。

ご好評をいただきました今年5月のパティオス20番街・第2次募集（100戸）に引き続いての募集となりますが、これまでにお伝えした住棟内LANやリビング・ダイニングでのガス温水式床暖房設備、オートロック・宅配ボックスといった賃貸マンションでは最先端の設備が装備されており、快適な生活を送ることができます。

また、ベイトウンの沿道型建物配置の趣旨や多様化するライフスタイルに合わせ、1階部分で街路に面した形での開放的なリビングを備えた住宅など、多彩なプランをご用意しております。

隣接する公団パティオス20番街では内科医診療所・調剤薬局・フレンチレストランがオープンしており、皆様の日々の生活をサポートしています。



■最近、ベイトウンに住んでいてよかったと思ったこと。国際千葉駅伝を自宅前で応援できた。コアのコーヒーコーナーを手伝ってまた新しい人に出会えた。クリスマスツリーをたくさん見ることができた。京葉線から富士山が見えた。夜、星がきれいだった…。

佐藤則子（#3-310/T&F211-0090）

■今とは違って、終身雇用が当たり前だった時代の子どものなりた職業にはサラリーマンが必ず入っていたが、今の子どもたちははたしてどんな夢を描いているのだろうか？

めっきり寒くなった11月末の時点でもコートなしの背広姿で通勤している元気なサラリーマンが意外と多いことを眺めながら、バブル期に流行った「24時間戦えますか？」というコマーシャルソングを口ずさんでみた。

金一剛（#3-220/T&F211-0388/ikim@cc.e-mansion.com）

■「つくる人がいて、それを助ける人がいて、そしてそれを認めて評価する人がいる——それこそが『文化』の姿」。東大大学院で教育学を専攻する汐見稔幸教授がこんな話をするのを聞いたことがあります。なんだ、それって、いまやってる「サウンド・オブ・ミュージック」もそうじゃん。聞いてて、そう思いました。「認めて評価」はこれから本番です。多くの人の目にふれるといいですね。

茂木俊輔（#7-305/T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp）

■今月、打瀬小学校「地域ふれあいクラブ」で、切り絵で作る昆虫標本の講座をしました。紙を真ん中から折り、蝶やクワガタの右（または左）半身のシルエットを切り、紙を開くと左右対称の昆虫の切り絵が出来るという“単純なもの”でしたが、「クワガタそっくりに作ろう」と自分で目標を掲げて作りだす子や「思ったのと違う虫ができた！面白い」と“思いがけない結果”を楽しむ子など、皆、それぞれの方法で作業していました。「こういうことでも、個性が出るものだなあ」と周りの子どもたちを見渡すと、方法は違っても“気を集中させて作業する真剣な瞳”は皆同じでした。

浜田貴代子（公園東 atmark@pop01.odn.ne.jp）

■ベイトウンネットや、メーリングリストで、「スーパー防犯灯」についての議論が盛んになっている。自分はこのようにこと（ニュースの編集員）をやっているのだから比較的情報に触れやすいが、多くの住民は、自分達のことなのに、問題となっていることすら知らずに議論が進み、決着に至っていることが多いのではないかと。企業庁や警察など「公」側の進め方、自治会連合会の広報や意見収集方法などに批判が集まりやすいが、住民側の「知ろうとする努力、積極的に関与しようという努力」にも問題は無いだろうか。実際、「スーパー防犯灯」については、各街区に掲示があり、連合会での議論への参加の呼びかけもあったが、はたしてどれだけの人が「自分の問題」として捉えただろうか？

板東司（#1-210/T&F211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp）

■記事中でも紹介したが、「スーパー防犯灯」をめぐる議論では、短い期間内に議論を進める必要から、EメールやインターネットなどITによる情報公開が活用された。ITを限られたコミュニティ内の情報伝達の手段としてことさら持ち上げるつもりはないが、これだけパソコンが普及し、実際に威力を発揮していることを目の当たりにすると、否応なくコミュニティ内での情報公開や合意形成にITが使われることになるだろう。まして、ベイトウンは明らかにパソコンの普及率が高い街だ。今回のスーパー防犯灯問題は、防犯灯設置をめぐる是非論とともに情報公開とITメディアということについても考えさせられる出来事だった。

松村守康（#10-612/T&F211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp）



賃貸住宅のお問い合わせは  
総合募集センター津田沼案内所  
TEL：047-478-3711

公団住宅の駐車場のお問い合わせは  
日本総合住生活（株）千葉支店

都市公団

# 打瀬改革 2002!! ぼくらが主役だ

さる11月2日(土)、打瀬中学校で第8回文化祭が行われました。第一部(午前中)は、「総合的な学習の時間」にひとりひとりがテーマを決めて研究してきた「スクランブル学習の発表」でした。「国際理解、福祉・ボランティア、共生、文化・人類、環境・エネルギー、スポーツ、健康・つくる」の7つのテーマに分かれて、決まった時間内で発表、または研究論文展示と説明がありました。中には、パソコンで発表する生徒もあり、研究の多彩さに「どこを見たらいいか、迷う」という保護者の声も聞かれました。

午後一番の第二部では「地域の皆さんとの交流」が主になり(写真→)、その後第三部のアリーナでの発表では、「英語スピーチ」「3B合唱」「吹奏楽部」「演劇部、どろぼう仙人」と、中学生による発表を、保護者や地域の人たちが楽しみました。 【浜田】



(写真上) 第三部 学芸発表会での吹奏楽部の発表

DISNEY AT THE MOVIES など、迫力の演奏。

(写真左) 青少年育成委員会主催のシニア体験

(写真下) パティオスの会文化委員主催の茶道



地域の音楽家「ミュージックフォレスト」の演奏



音楽選択の3年生とベイトウンの女声合唱団「瀬音」の合唱



## ベイトウンフォーラム開催 - 今年のテーマは『交通問題』

毎年恒例となった、ベイトウンまちづくり研究会主催による「ベイトウンフォーラム」が、今年も開催されます。これまで、住民自身がまちづくりを考える場を、まちづくりのコンセプト、地域と教育、ブロードバンド、街の緑化などをテーマに、街歩きや討論会といった形で提供してきてくれたベイトウンフォーラムですが、今年のテーマは「交通問題」で、下記のとおり開催されます。

日時：2002年12月8日(日)10:00～12:00  
 場所：ベイトウンコア講習室  
 主催：まちづくり研究会  
 共催：自治会連合会交通委員会

一口に「交通問題」と言っても、交通マナーの問題、路上駐車の問題、それから交通事故の問題など多岐に渡ります。本紙でも、路上駐車の問題や、交通事故のニュースなど、これまでに再三取り上げてきました。最近でも、街のあちらこちらで重大事故が発生しています(囲み記事参照)。

交通問題全体を1回のフォーラムで語り尽くすことは到底無理なので、今回を皮切りに、月に約1回のペースで、少なくとも3回のフォーラムを分催することになりそうです。第1回目の今回は、ベイトウン自治会連合会交通委員会の方から、過去の状況・経緯の説明と、交通問題対策として、ベ

イトウン内での「(1)原則駐車禁止 (2)30km速度制限」という具体的な試案が提案され、これを中心に議論が行われる予定です。「交通問題」に興味がある方、意見のある方は、ぜひご参加下さい。

【板東】

**フォーラム主催者からのごあいさつ**  
 今年もベイトウン・フォーラムを開催することになりました。ただし、今回は大きな大きな問題である交通問題です。企業庁でも「ベイトウンの今後の街作りをおこなう上での試金石」として住民の意見を聞きたいようです。そこで、最初の第1歩として、この問題に長くかかわってきた自治会連合会の交通委員会をお呼びしてお話をうかがい、情報の共有をはかろうということになりました。ベイトウンの交通については住民それぞれいろいろな経験と意見をお持ちかと思いますが、ベイトウン全体の解決を考えるためには情報が足りない気がしません。交通問題って、本当は何が問題なのでしょう。まちづくり研究会では、これまでフォーラムを打ち上げて議論をするだけでしたが、今回は少し腰を落ち着けて、その先ですすみたいと思っています。交通問題が動けば、街の様子は一変するかもしれません。この街に来てまだ間がない皆さん、これまでずっと街の変わりゆく様子を眺めてきた皆さんの声が大切です。ぜひご参加下さい。

【まちづくり研究会、GPE村岡英裕】

ニュースとしてはやや古くなりましたが、今年の9月28日(土)には、5番街、8番街、10番街、企業庁駐車場の信号のない交差点で、車2台が衝突する事故が発生し、1台が歩道に乗り上げ、8番街の一部にまで達するという、場合によっては歩行者までも巻き込みかねない事故が発生しました。この交差点や、6番街、11番街、15番街、17番街角の交差点は、以前から車どうしの衝突事故が多発しており、構造的な問題もあるのではないかと指摘されています。



▲8番街に突っ込み大破した乗用車

また、今年の5月16日(木)には、1番街と打瀬小学校の間の道で、バスから降りた中学生が、トラックに跳ねられるという事故も発生しています。



▲1番街前の事故現場

ようこそ。ザ・マンハッタンのクリスマスへ。

The Terrace / 1F



レストラン&ラウンジ ザ・テラス

ザ・テラスのイタリアン クリスマス  
**Christmas Specials**

12/20(Fri)~25(Wed)

11:30~15:30 (入店 14:30迄)  
クリスマスランチbuffet (デザートbuffet付)

大人 **¥2,700** 小学生 **¥1,400** ※税金・サービス料別

1部 / 17:30~19:30 2部 / 20:00~22:00  
クリスマスディナーコース (デザートbuffet付)  
**¥5,000** ※税金・サービス料別

ザ・テラスでは、ご家族そろって楽しめる  
メニューをご用意いたしました。  
テーマは“イタリアン クリスマス”

Bella Rusa / 2F



マンハッタンダイニング ベラ・ルーサ

クリスマスディナーコース

**Menu de Noël** 聖なる夜にささげて

12/20(Fri)~25(Wed) 17:30~22:00

**¥8,000** <要予約>  
※税金・サービス料別

一皿ごとに思いを込めたクリスマスの逸品で、  
大切な人とふたり、ロマンチックなひとときを。

BANQUET ROOM / 2F



バンケットルーム

マンハッタン  
クリスマスジャズ&ディナー  
**Christmas Jazz & Dinner**

12/24(Tue) 受付開始 18:30 START 19:00

**¥15,000** <要予約>  
※税金・サービス料込

コース料理 (フランス料理)  
シャンパン、ワイン 各1グラス付  
【ご予約・お問い合わせ 043-275-0008 (宴会予約)】

ジャズカルテットの華麗なる夕べ。

**Christmas Cake** クリスマスケーキ <税別>

気の合う仲間や大好きな方と過ごすクリスマスにぴったりのマンハッタンスイーツ。

ご予約受付 12/17(Tue)まで お引き渡し日12/20(Fri)~12/25(Wed)

生デコレーション

4号 **¥2,500** 5号 **¥3,500**

6号 **¥4,200**



ノエルド モンブラン

**¥4,500**

<限定100台>



タルト フレーズ

**¥3,000**

<限定100台>



<マンハッタン謹製> おせち料理 <税別>

新年のスタートにふさわしく、心を込めてご用意いたします。

ご予約受付 12/25(Wed)まで お引き渡し日12/31(Tue)

和洋おせち二段 / 一の重(和食) 二の重(洋食) **¥25,000** <限定100個>



HOTEL  
Manhattan

ホテル ザ・マンハッタン

千葉県美浜区ひび野2-10-1

TEL.043-275-1111 FAX.043-275-1197 <http://www.the-manhattan.co.jp>